

【事例22】工賃向上に向けた取組

施設名	就労継続支援B型事業所 竹林カフェ（坂東市）		
設置者	インペックス株式会社		
定員	30名		
利用者数	32名		
平均月額工賃の推移	R4：12,000円	R5：18,792円	R6：25,033円
主な作業内容	カフェの運営、ブルーベリーや野菜の生産・販売、コインランドリー・精米機の清掃		

工賃向上に向けたアドバイス

■ 「障害者施設だから…」ではなく、一(いち)飲食業として取り組むこと

- ・客数の確保に向けて、創意工夫を持って取り組みを進める
(例：SNSの活用、営業日の見直し(平日のみ→土日祝日も運営))
- ・提供メニューはマンネリ化せず、日々見直しを進める(例：経験者の採用、外部からのアドバイス)

■ 「利用者ができること等」を作業や収益につなげていく

- ・「利用者ができること」や「職員の気持ちやモチベーション」を制限せず、まずは取り組んでみること

その他

(カフェの運営)

- ・利用者は主に接客、洗い物、配膳に従事。シフト制により対応
- ・接客に当たっては職員が十分にフォローを行っている。障害者施設との理解もいただいているためトラブル等はほとんどない

(野菜やブルーベリーの栽培)

- ・利用者が栽培した農作物はカフェ内で販売。客数の増加とともに売上げも向上している
- ・口コミの効果で栽培したブルーベリーが市内の学校給食の食材として活用
(地域と連携した食育の一環として、給食メニューに利用)



ケーキには栽培したブルーベリーが添えられている



カフェ内では利用者が制作した自主製品も販売

施設(カフェ)外観



カフェ内の様子 (利用者が配膳を行う)



利用者が作った野菜はカフェ内で販売※



※事業所からご提供
いただいた写真にな
ります

栽培したブルーベリーは市内の学校給食の食材として活用された



※坂東市教育委員会
からご提供いたいた
写真になります

利用者による収穫の様子※



給食センターへの搬入に利用者も従事※



「目の愛護デー(10月10日)」に合わせた 給食メニュー(ブルーベリーヨーグルトあえ)※